

～費用対効果評価の試行的導入をふまえた～

医療経済評価(薬剤経済学)の基礎と実践

- ◆日時:2016年10月18日(火)12:30～16:30
- ◆会場:商工情報センター 9F 研修室
- ◆聴講料:1名につき40,980円(税込、資料付)——

⇒1名につき32,400円(税込、資料付き)
2名同時申し込みの場合、1名につき21,600円(税込)

講師からの紹介割引について

本パンフレットは講師用のパンフレットです。このパンフレットでセミナーをお申込みいただくと、講師からのご紹介により左記のとおり受講料が割引になります。なお他の割引との併用はできません。

●講師:クレコンメディカルアセスメント(株) 取締役最高業務責任者(COO)

工学修士、医学博士 小林慎 氏

【ご専門】薬剤経済学、医療経済学、統計解析

【ご略歴】国際医薬経済・アウトカム研究会(ISPOR)日本部会 理事・事務局長
日本経済大学大学院ファーマシーマネジメント研究所 特任教授

DPCマネジメント研究会 理事

多摩大学医療・介護ソリューション研究所 シニアフェロー

2016年4月から費用対効果評価の試行的導入が始まりました。既記載品だけでなく、10月以降は新薬も対象となります。我が国の製薬・医療機器企業にとって、医療経済評価(薬剤経済学)の知識が必須のものになることは間違いありません。本講演では、医療経済評価の基本的な用語や考え方、分析の方法や結果の解釈、企業における取組の方向性と問題点など、ついに始まった費用対効果評価の試行的導入に対して企業が検討しなくてはならないテーマを幅広く網羅します。

1. 医療経済評価(薬剤経済学)の基本的考え方

- (1)費用対効果の基本的考え方
- (2)ICERとQALY
- (3)モデルと感度分析
- (4)医療技術評価(HTA)と医療経済評価

2. 費用対効果評価の試行的導入

- (1)制度の概要
- (2)分析ガイドライン

3. 医療経済評価の利用可能性

- (1)「価値に見合った価格」の主張
- (2)プロモーションツールとしての医療経済評価
- (3)リアルワールドデータ

4. 製薬・医療機器企業の取り組みのために

- (1)開発プロセスへの導入
- (2)プロダクトライフサイクルへの導入
- (3)人材育成と体制作り

【質疑応答・名刺交換】

(講師紹介割引)『医療経済評価』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要事項をご明記ください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>